

LECTURES 講演会

16:15～17:15〔招聘講演〕

Prof. Dr. Ineta Dabašinskienė (Vytautas Magnus University)

イネタ・ダバシンスキエネ博士 (ヴィータウタス・マグヌス大学)

**“Attitudes towards foreign languages in the Baltic States:
the case of education sector”**

「バルト諸国の外国語に対する態度—教育部門の場合—」

イネタ・ダバシンスキエネ博士

リトアニア共和国カウナスのヴィータウタス・マグヌス大学教授、異文化間コミュニケーション・マルチリンガリズム研究センター長。リトアニアや欧米の様々な大学で研究・教育活動に携わり、国際的な共同研究・教育プロジェクトに参加している。専門は、社会言語学・心理言語学、特に、第一・第二言語習得、マルチリンガリズム、言語政策に関心を寄せる。他にも、研究領域は、応用言語学、リトアニア語文法、語用論など幅広い。著書に *The acquisition of Lithuanian noun morphology* (2003), *The acquisition of diminutives. A cross-linguistic perspective* (2007) などがある。



17:25～18:25〔特別講演〕

Prof. Dr. Olga T. Yokoyama (UCLA)

オリガ・ヨコヤマ博士

“Slavic PERSPECTIVE EXPRESSIONS in an interdisciplinary age”

「学際研究の時代におけるスラブ諸言語の視点表現」

オリガ・ヨコヤマ (横山恒子) 博士



元ハーバード大学教授、現在カリフォルニア大学ロサンゼルス校教授。専門は言語学・応用言語学、スラブ語学。研究領域は、談話文法・機能文法、スラブ文学、ロシア語文法、ロシア文化論、翻訳論などの広い範囲におよび、これらの領域で数多くの業績をもつ。著書に *Discourse and Word Order* (1986), *Russian Peasant Letters: Texts and Contexts* (2008), *Russian Peasant Letters: Life and Times of a 19th-century Family* (2010) など。2012年に研究・教育に顕著な功績のある教授に与えられる“殊勲教授”(Distinguished professor)の称号、2013年にロシア連邦文部省名誉博士号を授与される。

日時：2017年6月17日(土) 16:15～18:25

予約不要・入場自由

会場：上智大学四谷キャンパス図書館9階L911号室

〔お問合せ先〕上智大学ヨーロッパ研究所 Tel: 03-3238-3902 E-mail: i-europe@sophia.ac.jp
〒102-8554 東京都千代田区紀尾井町7-1 上智大学中央図書館7階721B

〔主催〕日本スラヴ学研究会 上智大学ヨーロッパ研究所

〔協賛〕科学研究費基盤(A)25243002(研究代表者 沼野充義)「越境と変容—グローバル化時代におけるスラヴ・ユーラシア研究の超域的枠組みを求めて」

〔後援〕駐日リトアニア共和国大使館 白水社